



林野庁
東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター
平成30年9月14日
No.147

平成30年度第2回合同パトロールを実施

平成30年8月28日（火）世界遺産地域及び周辺地域において、今年度2回目となる合同パトロールを実施しました。今回の参加者は構成機関関係者に加え、白神山地世界遺産地域連絡会議と連携関係にある環白神エコツーリズム推進協議会から参加もあり、総勢37名全5コースにて、巡視・啓発活動を実施しましたので、その結果をお伝えしたいと思います。

1コース目となるブナ林散策道コースですが、参加者10名により協力金受付所前の広場で入山マナー向上に協力いただけるようチラシ配布による啓発活動を実施しました。報道機関の取材も入り、活動の様子は、夕方のニュースで放送されました。



報道機関による啓発活動の撮影



マナー遵守に協力していただけるよう
チラシの内容を説明

2コース目となる高倉森コースは、参加者5名により巡視活動を実施しました。暗門を出発し、いきなり急勾配を登る大変なルートではありますが、参加者の猛者達により違法行為等がないか巡視活動を行いました。ブナ林散策道と集合地点が同じであったため、巡視に向かう様子が撮影され、夕方のニュースで放送されました。



違法行為以外にも登山道沿いの危険
木についても点検を実施



ファザーツリーにて小休止

3コース目となる天狗岳コースは、参加者9名により巡視活動を実施しました。当日は、アクセス道である白神ラインに倒木があり、撤去作業を手伝うなど巡視の前段から奮闘してくれました。巡視活動中は、違法行為の有無の確認をするほか、巡視コースである天狗岳管理歩道の刈り払いも併せて実施したところです。



世界遺産地域緩衝地域に到達



天狗岳頂上（向白神岳方向）。日陰が無いので相当暑かった様で…

4コース目となる笹内川コースは、参加者8名により巡視活動を実施しました。このコースは、釣りや白神岳を目指す入山者が訪れる箇所ですが、巡視当日は出会うことはありませんでした。今回の巡視では、違法行為等確認されませんでした。



沢を遡上しての巡視活動



魚泊滝に到着。滝の先は白神岳に通じる険しいルートである

5コース目となる白神岳コースでは、参加者5名によりチラシ配布による啓発活動と白神岳登山道にて巡視活動を実施しました。当日は、12名の入山がありマナー遵守に協力いただけるよう呼びかけを行ったところです。今回は、残念な事に観光パンフが林内に捨てられていたため、回収し処分しました。



チラシ配布による啓発活動



山頂より下山を開始。（太夫峰方向）山頂が雲に覆われ始めたので早めに退散

粗々ながら今回のパトロールについて紹介しましたが、残念な事に巡視の中でマナー違反にあたるゴミ投棄が確認されました。確認した場所は世界遺産周辺地域ではありますが、基本的にどんな場所においてもゴミのポイ捨ては良くない事と思います。気持ちよく登山を楽しむためにも入山の際に持ち込んだ物は、全て家まで持ち帰る位の気概を持っていただければと考えています。

今後についても、入山シーズン中は白神山地世界遺産地域連絡会議の関係者により、巡視活動を継続していきますので、白神山地世界遺産地域並びに周辺地域を訪れる際は、自然を満喫するためにもマナー遵守への協力のほどよろしくお願いしたいと思います。

※ 白神山地世界遺産地域連絡会議：世界遺産一覧表に登録された白神山地の適正な保全管理の推進を図るため、関係機関相互の連絡調整を行うことを目的とする。

環白神エコツアーリズム推進協議会：エコツアーリズムを通じた環白神地域の振興及び環白神地域の自然・文化資源の保全と適正利用の推進を目的とする。

追記

前146号で第1回合同パトロールについて、ご紹介したところですが、記事の中に掲載した写真の説明で「カタヘグリ」と表記しましたが、正しくは「タカヘグリ」となります。この場をお借りし、訂正とお詫び申し上げます。なお、ホームページに掲載している146号は修正しております。(三浦)

センサーカメラに写った動物達

当センターでは今年も、白神山地周辺地域（青森県側）に32台のセンサーカメラを設置し、月1回程度の写真データを回収しています。目的は前号の「白神の絆（No.144）」でもお知らせしましたが、ニホンジカやハクビシン等の森林生態系に影響を及ぼすおそれのある哺乳類の分布状況やどのような哺乳類が白神山地周辺に住んでいるのかを把握するための調査です。

8月31日までに回収した写真データにはニホンジカは映り込んでいませんが、外来種のハクビシン（写真①）やツキノワグマ（写真②）、タヌキなどの在来種が数多く映り込んでいます。

回収した写真データを確認していると、非常に素早く動くため画像がぼやけたり、判別に必要な特徴が植物に隠れたり、動物の判別をするのに悩んでしまうものが多くて、いろいろな図



鑑や動物の写真を見て、これかな～、あれかな～と判別しています。

そういう作業をしている中で、たまに面白い写真が紛れ込んでいたりします。今回紹介します写真③の画像がその一つです。最初に見たときは、カメラのレンズにゴミが付いたのか、それとも周りの枯れた草などが風に揺られてカメラが反応したのか、何が写ったのかな？と少し考えたところ・・・。

んん？この茶色の部分は毛の色か、そうすると、ピンクっぽいのは肌か？おー、なるほど！っと、何の動物かが分かりました。そして、写真③が撮られた状況を想像したところ、思わずクスッとしてしまいました（笑）。

皆さんは写った動物が何か分かりましたか？分かった方はぜひ想像してみてください。この写真が撮られた状況を。。。(ウッキー♪)

※注）センサーカメラは木の根元（地面）から150cm程度の高さにくくり付けています。（葛西）



平成30年度第2回森林教室『色づく秋、黄葉のブナ林を巡る』を開催します

開催日：平成30年10月13日（土）

開催場所：青森県中津軽郡西目屋村 暗門溪谷

青森県平川市西碓ヶ関山 矢立峠 白神八甲田緑の回廊

※道路状況・天候等により内容を変更する場合があります。ご了承ください。

募集人員：20名（親子での参加を優先し、応募多数の場合は抽選）

参加費：200円（傷害保険料外・バス代は無料です）

募集期間：平成30年9月12日（水）～9月28日（金）

※平日8時30分～17時15分まで（土日祝日除く）

※その他詳細につきましては、ホームページ等でご確認ください。

〈発行〉津軽白神森林生態系保全センター

〒038-2754 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字米町 25-2 電話:0173(72)2931 FAX:0173(72)2932

